



感染性胃腸炎



原因

夏 エンテロバクター・アデノウイルスなど

冬 ロタウイルス・ノロウイルスなど

人混みの多い場所で胃腸炎にかかっている小児との接触、だ液、排泄物から感染が広がります。

症状

吐気、嘔吐、下痢、腹痛、発熱、食欲不振など。

始めは吐気が1～2日と強く、嘔吐が目立ちます。その後は下痢が主な症状になりますが、嘔吐、下痢が同時に起こる場合もあります。

嘔吐や下痢により体内の水分が失われることにより脱水に陥りやすいため、水分摂取を心がけるようにしましょう。

水分、食事の取り方

★経口補水液を小さじ1杯（5ml）程度からはじめます。吐かないようであれば

5～10分おきに繰り返します。

★1時間経過したら30～60mlを増やします。

★それでも吐かないようであれば100～150mlに増やします。

★1回に飲む量が増えたら与える回数を1時間に1回程度にしましょう。

★水分補給しても嘔吐が無く、症状が落ち着いて12時間くらい経ったら消化の良い食事を開始しましょう。

消化の良い食事

- ・おかゆ（梅干し入）
- ・薄味のコンソメスープ
- ・野菜のくたくた煮であるおじや



感染予防のため手洗いを徹底しましょう！